

国語科「国語総合」シラバス

中学校国語の内容を受けた基礎的な内容を学びます。
 「現代文」「古典」に分けて週2時間ずつ学びます。
 平成18年からの大学入試センター試験「国語」は「国語総合」の領域を踏まえて出題されます。

単 位	4	履 修 学 年	1	履 修 区 分	必 修
学習内容	現代文	明治以降の「随想」「小説」「評論」「韻文」(短歌、俳句、詩)等を読解します。討論や発表をしたり、意見文や小論文を書いたりします。社会人として必要な言語能力を身に付けるための学習をします。			
	古文	日本の古典の読解を通して、生き方・考え方を学びます。古文を理解するために、修辞法や文法も学びます。			
	漢文	日本文化に深い影響を与えた中国の古典を学びます。漢文を学ぶことは現代文を学ぶことにつながります。			
学習のねらい	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めます。思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨きます。言語文化に対する関心を深め、現代の文章や古典を読み、読書に親しむ態度を身に付けます。				
使用教材等	教科書 副教材 辞書	国語総合(社) 国語便覧(社) 古典文法(社) 漢文テキスト(社) 現代文問題集(社) 古典問題集(社) 国語辞典 古語辞典 漢和辞典			
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。</p> <p>【話す・聞く能力】 自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。</p> <p>【書く能力】 自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。</p> <p>【読む能力】 自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。</p> <p>【知識・理解】 表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。</p>				
評価方法	<p>授業中に行う諸君の自己評価・相互評価は、諸君自身の学習の振り返りに活かす他、学期毎の評価の参考にします。</p> <p>【第1学期、第2学期の評価方法】 中間テスト・期末テスト・小テストの成績、ワークシート・学習プリント・ノート・週末課題等の提出物の内容、学習活動への参加態度等を総合的に評価します。</p> <p>【第3学期の評価方法】 第3学期の学年末テスト等の成績や提出物等に、第1・2学期の成績を加え、学年の成績を総合的に評価します。</p>				

家庭学習	授業は予習を前提に進めます。家庭学習の習慣を身に付けよう。				
	予習	【現代文】本文音読、意味調べ 【古典】本文音読、本文筆写、書き下し文(漢文)意味調べ、口語訳			
	復習	予習の際の不明点、授業での学習事項が理解できたか確認しよう。			
テスト	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト対策は、遅くとも1週間前から始めよう。 不明な点は質問しよう。 ノート、参考書等を見て理解したつもりになったり、丸暗記をしたりするのはなく、人に説明できるくらいの理解をしよう。 学習のポイントは、漢字の読み書き、語句の意味、キーワード・キーセンテンスの説明、言い換え表現、指示語、心情把握、作者、作品、文学史、古文単語の意味、口語訳、文法的説明、修辞法、書き下し文、返り点、訓点、句法、故事成語の意味など。 				

学習計画

学習のねらいの各項目がチェックできるように示してあります()。テストの前に自分の学習の取り組みを振り返るために活用してください。
 定期テストの期日が発表されたら、シラバスに記入してください。
 学習の方法がわからない場合、学習の状況が思わしくない場合、さらに学習を発展させたい場合は学習相談を受けてください。

第 1 学期

月	学 習 内 容	学習活動や学習のねらい	評価方法・試験
4	国 学習のガイダンス	・授業の進め方、学習方法、テストの出題方針を確認します。	作品 実技テスト 自己・相互評価
	現 表現の実践 ・自分の大切なものの紹介文を書く。 ・スピーチをする。	・書き言葉と話し言葉の違いに注意して、分かりやすく人に伝えることを工夫します。 ・スピーチ原稿をまとめます。 ・スピーチをします。	
古	評論(一) ・知的創造のヒント 表現の実践 ・文章を要約する。	評論文を読んで、筆者の主張をとらえます。	ワークシート
	古文入門 ・児のそら寝 ・絵仏師良秀 ・頼宗といふ笛吹き	論の展開に従って、文章を読み取り、要約する力を養います。 繰り返し朗読して、古文独特の言葉や表現を理解します。 古語辞典の引き方に慣れます。 用言の働きを理解します。	ワークシート
5	現 小説(一) ・羅生門	小説中の表現の工夫や描写から、登場人物の心理を考えます。	小テスト
	漢 漢文入門 ・訓読に親しむ(一) ・訓読に親しむ(二)	漢文の読み方に慣れ、日本語の中に生きる中国の言葉との関連を知ります。 漢文を正しく訓読できるようにします。	ワークシート 小テスト 小テスト
定期テスト(返却含む) 月 日()		テスト前の学習法を参考にして、学習状況や苦手な内容を確認しよう。	学習相談カード (該当者・希望者) 自己評価、ノート
6	現 評論(一) ・水の東西	評論文の特徴を学び、東西の比較文化に関する小論文を書きます。 古典の世界の有職故実や、習慣等について理解し、古人の思いを想像します。 主な助動詞の働きを理解します。	ワークシート 作品
	古 物語を読む ・竹取物語 おひたち かくや姫の嘆き		
漢	現 小説(一) ・一瞬を生きる	小説を読み、各自の考えを發表します。	ワークシート 自己評価
	漢 故事成語 ・漁夫之利 ・狐借虎威 ・守株	漢文の読み方に慣れ、故事成語の成り立ちや意味を理解します。	小テスト
定期テスト(返却含む) 月 日()		テスト前の学習法を参考にして、学習状況や苦手な内容を確認しよう。	学習相談カード (該当者・希望者) 自己評価、ノート
7	現 表現の実践 ・ディベートで討論する	・話すこと、聞くことについて意識し、それらの力を養うとともに、意見の述べ方について学びます。 ・作戦シートに立論、反駁予想等を書きます。 ・反対意見を考慮した意見文を書きます。	ワークシート 自己・相互評価 ワークシート 作品
	古 小論文を書く ・伊勢物語 芥川	歌物語や和歌の修辞法について理解します。	
夏休み	課題として、読書感想文、現代文問題集、古典問題集を出します。2学期始業式のHR時に、国語係に提出してください。 課外授業では、「古典文法」「古典文法ワークノート」「古語辞典」を使い、助動詞を学習します。 ワークノートを1日2ページずつ学習しますので、確実に予習をして臨んでください。		